

● 目 次

まえがき

1 ポスト・フクシマの日本政治

■保守政治と新しい政治の相克のなかで

はじめに — 1

一 経済成長時代の政治 — 「利益誘導政治」と「生活保守主義」 — 3

経済成長時代の日本政治 — 利益の誘導と配分をめぐる政治 利益誘導政治の弊害 — 政治の活力低下 自民党長期政権の弊害と「生活保守主義」

二 経済成長時代の終焉と日本政治の変容 — 11

利益誘導政治の行き詰まりと新自由主義への旋回 政権交代と民主党の挫折

三 ポスト・フクシマの日本政治 — 17

「アベノミクス」と自省なき政治 アメリカのような社会がいいのか？ どのよう
な社会に向かうのか？ — 環境と資源の制約、人口減少社会を迎えて

おわりに — 26

2 原発と戦後日本の政治

29

はじめに — 29

一 五五年体制と原子力推進体制の形成 — 31

戦後初期の労使関係と政党政治 原子力推進体制の形成と日米・政財間の提携
官民の原子力複合体の形成 反原発の住民運動の登場と自民党の利益誘導政治

二 保革対立下の原水爆禁止運動と反原発運動 — 40

保革対立の政治 原水爆禁止運動から反原発運動へ

三 企業社会の政治と原子力問題 — 45

石油危機後の労働界再編と原子力 財界主導の政治改革から政権交代へ

四 新しい対立の構図 — 50

核燃料サイクル政策の論理 事故・不祥事の頻発と地方からの問い直し 福島第
一原発事故後

おわりに — 56

3 ポスト・フクシマ時代の政党と選挙

59

はじめに — 59

一 政党と国民・有権者の乖離 — 62

4

「政党の危機」 有権者の政党離れ——ディマンド・サイドからの説明 政党の
有権者離れ——サブライ・サイドからの説明

二 選挙の問題——71

比例代表制という方途 比例代表制の問題 政策公約としてのマニフェスト

おわりに——84

「デモをする社会」のデモクラシー

■「新しい新しい社会運動」の時代か？

はじめに——転換期としての二〇一一年——87

自然発生のデモ——女子高生の「パレードをしよう」 原発再稼働と官邸前抗議

「デモをする社会」のデモクラシーとは

一 二〇世紀の労働運動——古い社会運動の時代——92

「階級」の時代 労働運動の限界

二 新しい社会運動の台頭と展開——95

主体性・敵対性・全体性 日常生活の民主化 「静かなる革命」

三 「新しい新しい社会運動」の時代か？——100

新しい政治Ⅱ文化運動 官邸前抗議の「新しさ」 SNS時代の社会運動

「ふつうの人々」による社会運動

おわりに——「デモをする社会」の危うさと可能性——109

三つの社会運動の並存関係 メディア・リテラシーを鍛えよう デモクラシー

5

メディアとポピュリズム

115

はじめに—— 115

一 二〇一一年の二つの出来事—— 116

三・一一と大阪W選挙 メディアは何を報じ、何を報じないのか

二 小泉政治—— 120

「政治改革」の時代とメディア政治 新たなメディア——インターネット 小泉劇場

三 阿久根・名古屋・大阪—— 126

草の根からのポピュリズム ブログ市長 名古屋と大阪 大阪都構想から
国政へ ポピュリズムと世論

おわりに——市民とメディア—— 135

メディア政治のなかで メディアが流す情報 市民と世論

6

男女共同参画とローカルなジェンダー政治

141

はじめに—— 141

一 ジェンダーと権力—— 143

ジェンダーとは 「脆弱性」「回復力」とケア

二 男女共同参画の時代——150

国際社会への対応 「婦人問題」の登場 男女共同参画の成立 制度的権限の強化と「政治主導」

三 成果と課題——160

変化と反発 同化と本質主義の危険性

おわりに——ローカルなジェンダー政治——167

7 国境を越える市民と政治

■グローバル時代のなかで

はじめに——171

一 グローバル時代のなかで——173

多様なグローバル化の意味 新自由主義的グローバリズム 新たなアメリカの世紀のなかで 新しいナショナリズムの逆襲——「閉じた社会」への誘惑 「内なる国際化」とナショナリズムの高まり

二 二一世紀の平和をつくる——184

脱冷戦時代の平和 東アジアの冷戦と日本の平和 再び改憲の時代か？

三 国境を越える市民の時代——191

市民社会からの反攻 環境と資源の制約時代のグローバル資本主義 新自由主義的グローバリズムを超えて

おわりに——199

8 スローライフと実践の政治学

はじめに——私たちの選択——202

一 持続可能な世界に向けて——204

環境問題と持続可能性 持続可能な社会は「不幸な社会」？

二 スローライフと熟議民主主義——211

熟議民主主義とは何か 現代社会と熟議民主主義
代の熟議民主主義 トランス・サイエンスの時

三 新しい政治へ——218

お正月とキャンドルナイト 「新しい政治」へ

四 ポスト三・一一の社会を構想する——225

「ほどよい明るさ」を求めて

おわりに——スローな自省から始めよう——228

あとがき
索引